

GEO協議会だより

編集・発行 Mine秋吉台ジオパーク推進協議会
令和4年6月1日 (No.93)

ラブスプーン を作ろう！

6.12sun

9:15▶11:45

(受付 9:00▶9:15)

場所 別府公民館



Mine秋吉台ジオパークでは、世界各地とつながることができます。国際交流員の出身地であるイギリスのウェールズでは大切な人に手作りの木でできたスプーンを贈ります。国際交流員と一緒にウェールズの文化やジオパークについて学び、紙ねんどを使って世界でたった一つのラブスプーンを作ってみませんか？



- 参加費 1人200円
- 持参物 ねんどへら等 (必要な人)
- 定員 先着20人
- 申込 電話またはホームページ
- 締切 6月9日 (木)
- 申込み・問合せ先

Mine秋吉台ジオパーク推進協議会事務局
(電話番号：0837-63-0055)

申込みはこちら



第1回 ジオアカデミー開催

Mine秋吉台ジオパークの過去から現在までの人々の暮らしや生き物の営み、大地の成り立ちと、それぞれのつながりを知るための学習講座「ジオアカデミー」を開講します。

日時

6月13日(月)
10:00-12:00

場所

別府公民館 及び
YouTube

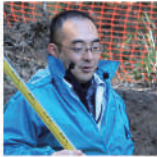
申込

HP または 電話
(0837-63-0055)

締切

6月9日(木)

申込はこちら



講師：山根謙二
(美祿市文化財保護課)

日本列島に人類が住み始めたころから中世（鎌倉・室町・戦国時代）の歴史についてお話しします。特に美祿市は遺跡が多く、社会の授業で学んだ縄文土器や弥生土器、竪穴住居や古墳なども美祿市でもみついているのです。こういった発掘調査の成果を中心に美祿さらには日本の歴史について学びましょう。

ジオアナと一緒に考えよう！

ユネスコ世界ジオパークとは？
ディズニーランド VS 世界ジオパーク 編



国際交流員の
ジオアナです

今回は世界ジオパークネットワークの会長がジオパーク大会で紹介された例をお借りして、ジオパークではないものとジオパークであるものを比較しようと思います。会長曰く、「世界ジオパークはディズニーランドの真逆」だそうです。というのは、ディズニーランドでは数人のお金を持っている人が集まり、好きなように計画を立て、自分たちにとって都合のいいテーマパークを立ち上げ、それを宣伝すればお客さんがどんどん集まってきます。ディズニーランドという企業を運営する側にとっては、金銭的にも時間的にも楽な方法です。それと違って世界ジオパークでは、地域に住んでいる方々全員の意見と協力を通して地元住民が自分たちの生活や社会、そして世界をよりよくするために、長い年月をかけてジオパークというものを立ち上げていきます。国連ではこの二つの工程を「トップダウン」（上から下）と「ボトムアップ」（下から上）と呼んでいます。つまり、世界ジオパークを目指すことはボトムアップの社会を築く工程であり、だからこそ美祿市に住む一人一人の協力、そしてこれを読んでいるあなたの支援や活動が必要不可欠なのです。

続く...

豊田前公民館でジオパーク学習が行われました！

令和4年2月26日(土)、豊田前公民館において、豊田前小学校児童を対象に第6回豊田前キッズスクール・ジオパーク学習教室を開催しました。『美祿と豊田前のジオい話』というテーマで、ジオガイドの木部みどりさんをお迎えし、行われました。

はじめに、木部さんが作成したパワーポイントをもとに「白・黒・赤」の『黒』である『石炭』とはどうやってできたのか？から始まり、最後には石炭の産出で栄えた豊田前町の当時の様子までをわかりやすく、ときには児童にクイズを出して説明いただき児童たちは熱心に聞き入っていました。講義の中で、ジオパークの『黒』である『石炭』が豊田前という町に、人を呼び・町が大きくなり、その町から多くの人々が育ったことの不思議なつながりが、単なる

地質資源というだけでなく、郷土形成の「礎」となっていたことの面白さもお話いただきました。

今回の教室を終えて児童たちから集めたアンケートには「昔の豊田前を知れてよかった。」や「ジオパークと豊田前のつながりで新たな発見があり楽しかった。」など、児童の育った地元の自慢が増えたことが伺えました。

(豊田前公民館 主事)

